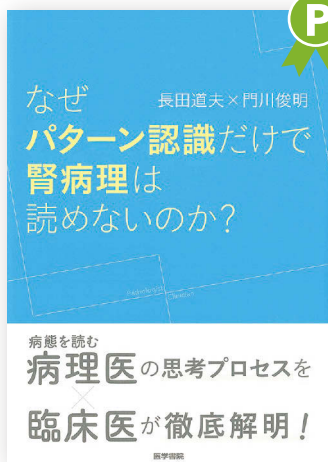




## # 今月の特集関連本④

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.455)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



### なぜパターン認識だけで腎病理は読めないのか?

長田道夫、門川俊明＝著

本体 4,500 円＋税／B5 判・200 頁／医学書院／2017

臨床に活かせる病理診断のあり方と実践について、「腎病理に詳しい病理医」と「腎生理を専門とする臨床医」が徹底トーク。腎病理を読み解くために必要な“本当の知識”と、病理所見から得るべき“真の情報”の輪郭を浮き彫りにする。糖尿病をフォローする一般医家にとって、糖尿病と高血圧の合併などに迫る「糖尿病性腎症」の項は必読。新感覚の病理解説本の登場！



### レジデントのための血液透析患者マネジメント

第2版

門川俊明＝著

本体 2,800 円＋税／A5 判・216 頁／医学書院／2014

透析を専門としない医師に向け、時間がたっても古びない血液透析のコアな知識を中心に、血液透析患者のマネジメント方法を実践的にわかりやすく解説する。保存期から透析導入のタイミング、そして維持血液透析患者のマネジメントと経過を追うとともに、血液透析患者の高血圧症、糖尿病、脂質異常症のマネジメントを解説。腎臓内科研修中の医師はもちろん、総合診療科のレジデント、先生方にもおすすめしたい最良の入門書。